

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
てん ねん き ねん ぶつ
天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】高梁市川上町高山
【時代】不明
【指定年月日】昭和31年4月1日
【所有】個人
【見学】可



あなとやまのしゃそう

穴門山の社叢

かんけい しまち
関係する市町

たかはし
高梁市



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

あなとやまじんじゃ しゃそう けいこく
穴門山神社の社叢は、周辺の溪谷を含む約10haの広さで
せつかいがん がんぼん きよじゆ お しげ
石灰岩の岩盤の上に巨樹が生い茂っています。植物の種類も多く、昭和5（1930）年の調査によると、438種類が記録されており、現在では市内屈指の原生林となっています。山の頂上部は赤マツ林で、クマザサが下草となっています。

谷を下るにつれて、木の種類も多くなり、ケヤキ、トチの木、カエデ、カツラなどの高木層をつくり、その下には多種類の低木が茂っています。温暖で湿気にも恵まれ、草木、シダ類も生育が盛んです。

※社叢・・・神社に茂っている木々